

# 森づくり最前線

会津森林管理署南会津支署 伊南森林事務所 農林水産技官 福島大樹

私の勤務する伊南森林事務所は、福島県会津地域南部に位置する南会津町伊南地区(旧伊南村)の国有林約1万haを管理しています。

阿賀川の支流の伊南川を挟むようにそびえる標高800〜2000mの山々はブナやミズナラが生育する天然林が多く、管理する国有林の大部分が野生生物の移動経路を確保するための「緑の回廊」に指定され、森林生態系を保全する効果を高める存在となっています。また、面積は大きくありませんがスギやカラマツの人工林もあり、ここでは木材生産も行っています。

新緑の初夏、カラマツが黄金色の紅葉を見せる秋など四季折々の風情に味わいがある当地域ですが、中でも三ツ岩岳と唐倉山の山開きには毎年多くの人が訪れます。三ツ岩岳(標高2065m)は伊南地域最高峰の山で、この三ツ岩岳と窓明山(標高1842m)を通るコースは、かつて国体の山岳縦走競技コースと

なったこともあり、私自身も挑戦しましたが非常に登りごたえのあるコースです。また、唐倉山は標高1176mと標高はそれほどではないものの、山開きが10月に行われる珍しい山です。昨年はあいにくの雨で式典のみ行われましたが、山を愛する多くの人で賑わいました。

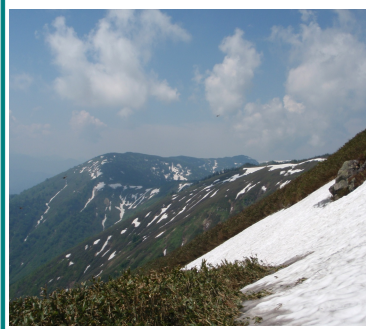
伊南川は鮎釣りが盛んです。全国から多くの釣り客が訪れ、シーズン中には「伊南川あゆまつり」も開催されます。冬季は豪雪地帯である特徴を生かして、スキーやクロスカントリリーなどのウィンタースポーツが盛んに行われており、伊南森林事務所管内の国有林もスキー場(レクレーションの森)として貸し付けられています。

伊南森林事務所管内の人工林は全国的な傾向と同様に主伐期を迎えています。林業の低コスト化が重要課題となっている中、平成29年9月に木材の生産性向上に向けた現地検討会を開催しました。木材生産現場に

おける作業道の作設や伐採などの作業をいかに効率的に行っていくかを学び、地域全体の林業技術、木材生産能力を底上げしていこうというものです。

当日は森林組合やNPO法人など地元南会津町が主催する南会津林業成長産業化推進会議のメンバーの方々に多く参加いただきました。参加した皆さんからは地域林業の発展に向けた強い意気込みが感じられ、地域と連携した取組を実施することの重要性を感じました。

最近、当事務所管内でもシカが樹皮を食べたり、角でこすることによって樹皮が剥がされる被害(剥皮被害)が見られるようになっており、シカの生息域が確実に広がっていることを実感しています。その対策として、トウモロコシが原料で生分解性でありながら、5年は機能を維持して耐久性も高いリンロンテープを立木に巻いて被害の拡大を防いでいくこととしていきます。猟友会の方に非常勤



雪の残る三ツ岩岳山頂付近からの眺め



生産性向上検討会の様子



シカによる剥皮被害



猟銃を構える筆者

発行所 関東森林管理局  
編集 総務課  
TEL(027) 210-1158  
FAX(027) 230-1363

職員として事務所に勤務していただいているので、助言・協力を得ながらシカ対策を進めていく考えです。このような縁もあって、昨年個人的に狩猟免許を取得し、猟友会のシカ狩りにも参加しました。国有林職員としてだけでなく、一人人としてもシカ対策に貢献できたらと思っています。

国有林職員としてまだ経験も浅く至らぬ点もあるかと思いますが、地域の声に耳を傾け、先輩や地域の方のご協力をいただきながら、よりよい森林づくりに貢献していきたいと思えます。

※福島技官は、4月1日付け人事異動で、山梨森林管理事務所に異動になりました。